

岩手日報令和3年4月30日付朝刊

SDGs 身近だね 久慈高で講演会

久慈

久慈市畑田の久慈高（中野達博校長、生徒447人）1、3年生は28日、八戸工大生命環境科学科の田中義幸教授を講師に迎え、持続可能な開発目標（SDGs）について理解を深めた。

講演でSDGsについて「ずっとこの地球で生きていけるよう、みんなが幸せでよりよい社会をつくるための目標」と分かりやすく説明。田中教授が関係する「海の豊かさを守ろう」や「貧困をなくそう」など17の目標があることも解説した。

八戸工大と島守地区（八戸市）とのSDGsプロジェクトでは休耕田を活用したバイオエタノール燃料の



久慈高の生徒とSDGsについて語り合う八戸工大の田中義幸教授（右）

作製、「島守弁ミニ辞典」を利用した伝統・文化保存と継承などに取り組んでいることも紹介した。

田中教授は「SDGsは何でもありだ。きっかけは身近なところにある、高校生の視点で地域の宝を見直そう」と生徒に呼び掛けた。

堤内香乃子さん（3年）は「言葉は知っていたが何をやるのか分からなかった。今回の話で自分の周りにある問題解決がSDGsにつながることを知った」と納得していた。

講演は生徒自らが地域の課題解決を実践するための「総合的な探究の時間」として行われた。

※この記事・写真等は、岩手日報社の承諾を得て転載しています。